平成２７年度　箕面市立光明の郷ｹｱｾﾝﾀｰ事業報告
（　通所介護　）

①継続的な生活リハビリの実施について

新規契約時やサービス担当者会議等にて生活相談員等が家庭訪問を実施し、生活環境の把握やニーズの聞き取りを行い、訓練内容の説明を行いました。身体能力の維持・向上のため、特別なマシーンや道具を使わずに自宅でも継続して実施できるよう訓練プログラムを作成し実施しました。今後は更に生活機能の維持・改善も目指していけるよう引き続き取り組んでいきます。

②日常生活支援総合事業について

総合事業の内、緩和型サービスの指定申請を行い、１日６名定員で昼食サービスのある半日型（３時間半）事業所として受け入れ準備を行いました。緩和型サービスは週１回程度のサービス内容のため、自宅でも継続して実施していただけるようバイタル測定、健康状態の把握、口腔ケア、運動プログラム等の実施項目を盛り込んだオリジナルの自己チェックシートを作成し、受け入れ準備を整えました。

総合事業の内、専門型サービス（現行相当サービス）は４名の実績があり、来年度の本格的な移行に向けて箕面市や地域包括支援センターとのさらなる連携を強め、介護予防事業の充実を図ります。

③効果的な事業内容の発信について

食事や行事関係等のイベントを事前にご利用者やケアマネジャーに情報提供し希望者を募ることで、イベント実施日は利用日の追加や利用日の変更の希望者が増え、体験利用者も増加しました。今後はイベント回数を増やし、魅力ある事業内容を企画し、その内容を外部に発信していくことで、より効果的な営業を行っていきます。

④センターでの取り組み

『制作活動』

４月～５月【　鯉のぼり写真　】６月～７月【　エプロン　】
８月～９月【　羊のまくら　】１０月～１１月【ナイロンたわし】
１２月～１月【　足置き台　】２月～３月【　お手玉　】

# 制作活動の作品の一部

『デュアルタスクエクササイズ（二重課題運動プログラム)』

平成２８年１月から≪頭を使いながら身体を動かす≫ことで二つの課題を同時に行うことを目標に四角いマス目をつかった運動プログラムを行っています。足はいろいろなパターンのステップを踏みながら、頭では計算問題やしりとりなども挑戦するという頭（脳）と身体を同時に刺激することで認知症の予防と転倒予防に効果的な運動です。もちろん高齢者だけでなくあらゆる年齢層の体力づくりや生活習慣病の予防にも活用できますので、平成２８年度も積極的に取り組んでいきます。

デュアルタスク

エクササイズの一場面

ボランティア活動

『折り紙制作』

・２ヵ月に１回、日本折り紙協会公認講師のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱに来ていただいています。普段見たこともないような形を折り紙で表現するので、「こんなん始めて作った。」等と楽しんでいただいています。また、ご利用者の強いご要望により平成 28 年度からは２ヵ月ごとに２回来ていただくことになりました。

『平成笹川一座』

・不定期ですが、歌や踊りなどの演芸をしていただいています。本格的な演芸を目の前で見れるので、当日はキャンセル待ちになってしまうほどの人気プログラムです。

『三線』

・季節の曲やご利用者に馴染みのある曲に合わせて三線や尺八の演奏をしていただき、ご利用者と一緒に音楽の時間を毎月１回提供して下さっています。

『紙芝居』

・毎月１回、紙芝居を使ってご利用者に参加していただきながら楽しく紙芝居を読んでくださっています。

『グランメール』

・グループで関わって下さっていて、材料の下準備をしてくださり、２ヶ月に１回のペースでいろいろな創作活動をご利用者と一緒にしてくださっています。

『囲碁教室』

・囲碁が趣味のご利用者の利用日に合わせて、来所していただき、勝負のお相手をしていただいています。

『絵手紙・作品展示』

・ご利用者お一人お一人のバースデーカードを絵手紙で手作りしてくださり、１年間通してそれぞれのお誕生日にプレゼントさせていただきました。また、ご利用者が作られた作品をフロア内にいろいろ工夫しながら展示してくださっています。

『東小校区福祉会』

・グループで関わって下さっていて、月１回程度のペースで清拭布とチラシを折った紙箱を作ってセンターに寄付してくださっています。清拭布はトイレや入浴時に必要に応じて活用させていただいています。紙の箱は卓上に置いてゴミ入れ等に大活躍で助けていただいてます。

『リハビリ木工工作』

・センター内に展示できる木工の置物や、手作りでリハビリの為の木工細工を作って持ってきて下さり、工作物を使ってご利用者と一緒に手先を中心にリハビリの時間をつくってくださっています。

## 折り紙教室の作品展示